

実りの秋の到来です。

里山の紅葉も少しずつ色づきはじめ、色々な表情を見せてくれています。

10 月 10 日には 6 年ぶりになる村民運動会が開催されました。

悪天候による延期にもかかわらず、多数の皆さんに参加いただき大いに盛り上がりました。開催までの企画や準備、選手動員にご尽力頂いたスポーツ推進員、各自治会長と運動会委員の皆様、そして体育協会の皆様に厚く御礼申し上げます。

この行事は、社会生活の変化や人口減少に伴い希薄になりがちである各集落の連帯やコミュニケーションについて、スポーツを通じて醸成することも大きな目標のひとつでした。

大手企業でも社内運動会を復活したら、人づくりの面で大きな効果が上がり業績アップにもつながったという報道がありました。村の運動会でも参加した皆さんから、参加して良かったというお声もたくさんいただき、運動会だけでなく、地域が一体となれる行事は大切にしていきたいと感じた一日でした。

日本で最も美しい村連合の臨時総会とフェスティバルイン松崎に参加しました。

静岡県松崎町は「世界でいちばん富士山がきれいに見える町」宣言を行い、なまこ壁の古い町並や建造物も多く残されており、歴史を感じる町でもありました。

日本で最も美しい村連合は、今回の臨時総会で新たに北海道清里町、同道中札内村、青森県の佐井村、同県弘前市の岩木地区の 4 会員が加入し、64 の町村と地域となりました。

設立から 10 年を過ぎ、これからの 10 年についての議論が活発に行われましたが、連合としての課題と、会員である当村の課題は整理して論じなければなりません。

東白川村として目指す姿は、「経済的自立とそれに裏付けされた形で村としてその主人公である住民が美しい農村東白川村を誇りに思いながら幸せに暮らせることである」と考えております。

もう一つの課題である住民参加については、今年から発足した「美しい村づくり委員会」が毎月 1 回の話し合いを続けながら、具体的活動として今回、村の宝物探しを始めました。委員会には I ターンで東白川村に来ていただいた方々も多く参加していただいております。新しい村づくりへの息吹が感じられます。

今後、村内各地域を巡って地元の人たちの協力を得ながら宝探しを続けて参りますので、耳寄りな情報や古くからの言い伝えなどをこの「村の宝探し探検隊」に教えて頂きたいと願っております。

今年は 9 月に大変雨が多く、一部では小規模であります路肩崩壊などがありました。農作物への影響も懸念されましたが、大きな被害にならなくて安堵しております。

前述のとおり、村の経済的自立を目指すためには、農林業の発展なくしては到底考えられません。農地と山林資源の有効活用と米や白川茶、トマト、木造住宅に代表される木材関連産業の振興、販路拡大が重要な戦略となってまいります。

常に先を見据えたトップセールスを行って行く所存です。

平成 28 年 11 月 1 日

東白川村長 今井俊郎